

令和元年 7 月定例記者会見

【7 月 1 日(月)午後 1 時 3 0 分／4 階特別会議室】

会見項目

- 1 宮古市スポーツ合宿誘致の推進について (生涯学習課)
- 2 健康増進法の改正に伴う公共施設の禁煙の取扱いについて (契約管財課)
- 3 利活用予定の無い学校施設の公表について (契約管財課)
- 4 宮古市特産品等の展示について (産業支援センター)
- 5 宮古市小国総合交流促進施設「里の駅おぐに」のオープンについて (川井総合事務所)
- 6 客船「ばしふいっくびいなす」の寄港について (港湾振興課)
- 7 道の駅たろう「元祖サツパ市」について (田老総合事務所)
- 8 「第 32 回磯の生物展／岩手の海とジオの魅力展」について (水産科学館)
- 9 夏季観光関連事業の開催について
① いわて絆まつり in みやこ 2019 について／②宮古港海戦資料展開幕記念講演会・資料展等の開催について／③海水浴場開設について／④ジオパーク関連事業について (観光課)
- 10 第 18 回特別企画展「大地を掘ると、海の恵みがみえてくる」／「岩手の海とジオの魅力展」について (文化課)
- 11 「海の日」関連イベントについて (水産課)
- 12 未来(あした)への道 1000km 縦断リレー 2019 について (生涯学習課)
- 13 三陸防災復興プロジェクト 2019 さんりく音楽祭 2019 の開催について (文化課)
- 14 海上自衛隊掃海管制艇「ながしま」入港について (危機管理課)
- 15 閉伊川川下り大会 2019 について (新里総合事務所)

会見内容

別紙資料 1 ～ 1 5 のとおり。

記者との質疑

I A T 記者

道の駅たろう「元祖サッパ市」はいつから開催していて、何回目になりますか。

市長

今回が初開催になります。9月29日に2回目を予定しています。

I A T 記者

元祖と名乗るのは何か理由がありますか。

市長

軽トラ市を参考にし、最初だったこともあって元祖としました。

I A T 記者

市長がオープニングセレモニーに参加するイベントはどれですか。

市長

資料13「三陸防災復興プロジェクト2019 さんりく音楽祭2019」、資料14の「海上自衛隊掃海管制艇「ながしま」入港について」には参加します。

読売新聞記者

「里の駅おぐに」に関してですが、外見が学校の雰囲気がありますがどのようなコンセプトで整備されましたか。

市長

旧小国小学校であり、学校施設の雰囲気をできる限り残そうということで、フードコートで使う机や椅子は以前学校で使用したものを使っております。運営は地元のNPOが行うことになっており、地元のお菓子やそばなど特色あるメニューの開発などを地域おこし協力隊と一緒に取り組んでいます。

m i t 記者

旧学校施設を利用して整備した施設は宮古市では他にありますか。

市長

宮古市では初めてになります。

岩手日報記者

東日本大震災後、2つの海水浴場が開設されますが、震災の被害を受けた海水浴場は全てがオープンしたことになりますか。

市長

震災前の海水浴場は6ヶ所ございました。そのうち今回は4ヶ所のオープンになります。オープンしていないのが、赤前の大須賀海水浴場、鍬ヶ崎の蛸の浜海水浴場になります。

朝日新聞記者

それらは今後オープン予定がありますか。

市長

赤前の大須賀については、オープン可能かどうか要検討としております。鰹ヶ崎の蛸の浜は海水浴場よりもシーカヤック等での活用を考えております。

I B C 記者

海水浴場オープンの日に海開きのイベント等はありませんか。

市長

警察官警戒所の開所式を行います、その他のイベントはございません。

宮古民友

重茂の味祭りはいつ開催しますか。

市長

8月4日開催予定です。

I B C 聞記者

元祖サッパ市は、サッパがいっぱい並びますか。

市長

11艘並ぶ予定です。サッパの上で特産品の販売、焼き物、写真撮影、食事、箱メガネを使った水中観察も行います。

I A T 記者

磯の生物展では、三陸復興プロジェクトならではのイベントはありますか。

市長

「食」をテーマに水産加工品や、実物及びパネルを展示いたします。

I A T 記者

鰹ヶ崎灯台には市長は行かれますか。

市長

日程調整中です。

岩手日報記者

里の駅おぐにのオープンについて、これから取り組む課題やメリットを教えてください。

市長

宮古・遠野間の国道340号に休憩施設が無かったので、道路を利用する方々に休憩施設を用意したかったです。そして、地域の方々が、道路利用者に対してのおもてなしを自分達でできる活動拠点にできないかという2点を目的に整備しました。

また、道の駅をコミュニティの場として、色々な物が作られるきっかけとなるよう期待しています。地域の方々が様々な取り組みができるように、宮古市でも支援をしていきたいです。

宮古市スポーツ合宿誘致の推進について

趣旨・目的	スポーツ合宿を市内に誘致することにより、交流人口の拡大及び地域の活性化を図ることを目的とする。
内容	■令和元年6月25日、スポーツ合宿誘致推進組織「みやこスポーツコミッション連絡会議」を設立（7団体） 1、構成団体 ・宿泊事業者（2団体） 宮古観光文化交流協会、岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合宮古支部 ・交通事業者等（3団体） 岩手県北自動車(株)宮古営業所、リアス観光(株)、三陸鉄道(株) ・(一財)宮古市体育協会 ・宮古市 2、合宿団体に対する助成等 (1) 宿泊事業者・交通事業者を合宿団体が利用した場合の特典提供 ≪例≫ ①食事のグレードアップ ②無料送迎等 ※ 各事業者の特色を出すことで誘客を促進 (2) 市外の合宿団体が、市内の宿泊施設に宿泊してスポーツ合宿を行う場合、宮古市が合宿団体に補助金を支払う ①宿泊支援（1団体10名以上、上限100万円）。 ※3泊4日以上スポーツ合宿に対して、1人1泊当たり1,000円補助 ※宮古・室蘭フェリーを利用して、北海道室蘭港を出発し、宮古港に到着するフェリーに乗船した場合は、1泊とみなす ②市の体育施設使用料：2分の1補助。
特記事項	今年度の主な事業 ・合宿相談会（9月、2月）※いわてスポーツコミッション主催 ・合宿誘致チラシの作成 ・ホームページ等を活用した情報発信 ≪合宿補助金【県内各市の状況】≫ ・花巻市・北上市・遠野市・一関市・八幡平市・奥州市
問い合わせ	市教育委員会事務局 生涯学習課（☎68-9120）

健康増進法の改正に伴う公共施設の禁煙の取扱いについて

趣旨・目的	健康増進法の一部が改正されたことに伴い、受動喫煙の防止を一層促進するため、令和元年7月1日から宮古市の公共施設は原則敷地内禁煙とし、国の基準を上回る受動喫煙対策に取り組めます。
日時	令和元年7月1日から
場所	宮古市のすべての公共施設
内容	■第一種施設・・・健康増進法の規定に基づき、敷地内禁煙とします。 〔主な施設〕 本庁舎、総合事務所、出張所、小学校、中学校、保健センター、診療所、保育所等 ■第二種施設・・・受動喫煙を防止するため、国の基準を上回る取り組みを導入し、原則敷地内禁煙とします。 〔主な施設〕 消防施設等（消防屯所等）・教育施設等（給食センター等）・保健福祉施設（総合福祉センター等）・産業関係施設（勤労青少年ホーム等）・観光施設（道の駅等）・社会教育施設（公民館等）・文化施設（市民文化会館等）・スポーツ施設（総合体育館等）・集会施設（地区センター等）・その他の施設（みやこ斎苑等） ※ただし、健康増進法の目的を達成できる適正な喫煙場所を敷地内に確保できる場合は、その場所のみ喫煙可能。
問い合わせ	総務部 契約管財課（☎68－9069）

利活用予定の無い学校施設の公表について

趣旨・目的	廃校となった学校施設について、売却又は貸付によって有効活用を図るため、市の広報及びホームページ等にて広く周知し利活用希望を募集します。
公表予定施設	■ 公表予定施設は廃校舎 5 校 1、旧川井西小学校（川内第 4 地割 8 番地） 2、旧江繋小学校（江繋第 1 2 地割 8 番地 1） 3、旧茂市小学校（茂市第 3 地割 8 0 番地 1） 4、旧和井内小学校（和井内第 1 1 地割 2 番地） 5、旧墓目中学校（墓目第 6 地割 1 3 3 番地）
内容	■公表の方法 ・市の広報及びホームページで公表する。 ・文部科学省の「みんなの廃校プロジェクト」を利用して公表する。 ・国土交通省の「公的不動産情報公開サイト」を利用して公表する。 ■今後の予定 ○令和元年 7 月から 1 2 月 ・広報及びホームページ等による周知 ・利活用希望の相談受付 ○令和 2 年 1 月から 3 月 ・売却又は貸付に伴う諸準備 ・利活用の相手方の選定・決定
問い合わせ	総務部 契約管財課 （☎ 6 8 - 9 0 6 9）

宮古市特産品等の展示について

趣旨・目的	宮古商工会議所様から市内特産品等を展示するショーケースを寄贈いただいたことから、市内で製造される加工食品や工業製品等の普及振興に向け、展示を行うとともに、お披露目するものである。
日時	※記者会見終了後披露します 令和元年7月1日（月）午後2時30分～午後2時45分
場所	イーストピアみやこ「市民交流センター」2階自動ドア入口付近
主催	宮古市（産業振興部産業支援センター）
内容	展示物は、1事業者2品まで。市内で製造される加工食品や工業製品等が展示される。
特記事項	◎32事業者46品の展示 ◎展示期間は原則3か月（更新あり） ◎ショーケースは石曾根建具店様にて製作（宮古産スギを使用） ◎縦160cm×横126cm×奥行27cm、30cm、35cmの3段組み（ガラス張り）
問い合わせ	市産業振興部産業支援センター（☎68-9092）

宮古市小国総合交流促進施設「里の駅おぐに」のオープンについて

趣旨・目的	国道３４０号の利用者の利便性向上及び地域の活性化を目的として、閉校となっていた旧宮古市立小国小学校を改修・整備したもの。
日時	令和元年７月６日（土） 正午より営業開始
場所	宮古市小国第９地割８１番地１（旧宮古市立小国小学校）
主催	宮古市
内容	【施設の概要】 ●主な施設 ・産直、売店施設 ・フードコート、休憩コーナー ※地域おこし協力隊と地元住民が一緒に考えたメニューを提供 <u>（主なメニュー：手打ちそば、がんづき、きなこロール等）</u> ※学校で使用していた机、椅子を再利用 ・厨房、菓子製造室 ・男子トイレ、女子トイレ（パウダールーム）、多目的トイレ ※トイレは２４時間利用可能 ・展示スペース、インフォメーションスペース 【施設の運営管理】 指定管理者による管理（特定非営利活動法人 おぐにしんこうしゃ 小国振興舎）
特記事項	【オープン記念式典について】 ●令和元年７月６日（土）午前１０時より開催 ●テープカット、餅まき、地元郷土芸能（まっかくかぐら 末角神楽）の公演 など
問い合わせ	企画部 川井総合事務所（☎ ７６－２１１４）

客船「ぱしふいっく びいなす」の寄港について

趣旨・目的	昨年7月に寄港した客船「ぱしふいっく びいなす」が今年も宮古港に寄港します。 岸壁での歓送迎アトラクションや、市民参加によるお見送りなどを行います。
日時	7月4日(木) (入港：午前8時／出港：午後5時)
場所	宮古港藤原ふ頭（F9バース）
主催	宮古港利用促進協議会・宮古市
内容	■入港セレモニーや岸壁での歓送迎アトラクション、市民参加による出迎え、見送りなどを行います。 ○入港時： ◆磯鶏小学校児童による「沖上げ」（午前7時50分～） ◆歓迎セレモニー（午前8時00分～） ○寄港中： ◆地元特産品の販売やお振舞い（午前8時30分～） 販 売：<u>かわいペリーラ、いかせんべい、三鉄グッズなど</u> お振舞い：<u>あずきぱっとう酒粕アイス（千両男山）添え</u> ◆その他 サーモンくん、みやこちゃんの着ぐるみの登場、サーモンくん、みやこちゃんのエアートランポリンの設置 ○出港時： ◆宮古水産高校太鼓部による「宮水太鼓」（午後4時40分～） ◆来場者参加によるお見送り（UWビッグフラッグ、大漁旗、カラータオルを使ってのお見送り）
特記事項	◎客船「ぱしふいっくびいなす」は、昨年7月に続き通算13回目の寄港。 ◎浄土ヶ浜、龍泉洞などを巡るオプションルツアーも行う。 ◎会場内への一般の入場は可能。 ◎一般船内見学会（70名）※6/14で応募は締切
問い合わせ	宮古港利用促進協議会事務局 市港湾振興課内（☎68－9093）

道の駅たろう「元祖サッパ市」について

趣旨・目的	魅力ある地元特産品のPR及び直売により、田老地区の振興と活性化を図ることを目的に、道の駅たろうにおいて「元祖サッパ市」を開催します。
日時	令和元年7月7日（日） 9：00～16：00
場所	道の駅たろう（宮古市田老二丁目5－1）
主催	道の駅たろう連絡協議会（事務局：田老総合事務所内）
内容	■サッパ船（10艘）の上で、特産品・焼きものを販売！ お食事、写真撮影、箱眼鏡を使った水中観察も実施。 その他、<u>今が旬のウニ採り・ウニむき体験、殻つきウニの無料お振る舞い、瓶詰めウニの販売も行う。</u> ■ステージイベントでは、ウクレレ演奏会、ハワイアンショー、地元有志による歌と踊りや、七夕カラオケ大会（サッパ選手権）を開催し、優勝者には、鮭・あわびまつりステージの出場権を付与する。
特記事項	—
問い合わせ	○ウニに関すること： 田老町漁業協同組合（☎87－2171） ○その他に関すること： 道の駅たろう連絡協議会事務局（田老総合事務所内 ☎87－2971）

「第32回磯の生物展／岩手の海とジオの魅力展」について

趣旨・目的	今年で32回目になる水産科学館の夏の恒例行事。 今年は、「三陸防災復興プロジェクト2019」の事業である「岩手の海とジオの魅力展」の一つとして開催。 三陸に生息する海の生き物と、海が古くからの食糧供給源だったことを踏まえての「海の幸」についての展示を行い、入館者に三陸ジオパークの魅力に接していただく催し。
日時	実施期間：7月12日(金)～8月18日(日)
会場・主催	岩手県立水産科学館
内容	＜＜今年独自の企画＞＞ ◇会場内のガラスコーナーや会場内壁面で「食」をテーマとした展示。 ◇宮古の海の幸について、水産加工品や新巻鮭の実物展示や、紹介や解説をするパネルを設置。
特記事項	◎開催初日の7月12日(金)午前9時30分から、オープニングセレモニーを実施。 ◇招待校：市立鯊ヶ崎小学校3年生児童17人 ※今年は、サーモンくんとみやこちゃんの着ぐるみも参加 ※昨年の入館者数は4,479人(35日開館。1日平均138人)
問い合わせ	岩手県立水産科学館(☎63-5353)

夏季観光関連事業の開催について

① いわて絆まつり in 宮古 2019 について

趣旨・目的	三陸防災復興プロジェクト 2019 の事業として、「いわて絆まつり in 宮古 2019」を開催します。
主催	いわて絆まつり in 宮古 2019 実行委員会
内容	《郷土芸能上演》 日時：7月13日(土)～14日(日) いずれも午後2時から午後6時 場所：宮古市末広町商店街から中央通商店街 ◎県内全33市町村に、仙台市の仙台すずめ踊りを加えた、34市町村の郷土芸能団体が集結し、商店街の路上で演舞します。 《三陸グルメまつり》 日時：7月13日(土)～14日(日) いずれも午前11時から午後6時 場所：宮古駅前広場 ◎三陸地域の食材・レシピ・食文化などのPRを目的とした「三陸グルメ祭り」も同時開催します。
特記事項	—
問い合わせ	市産業振興部観光課もてなし観光係（☎68－9091）

②宮古港海戦資料展開幕記念講演会・資料展等の開催について

趣旨・目的	宮古港海戦150周年記念資料展の開幕と合わせ、講演会を開催します。 アマチュア講談師の地伏亭金目^{ちふくていきんめ}さんがオリジナル講談を披露するほか、宮古市出身の箱石大^{はこいしひろし}さんによる記念講演が行われます。併せて、イーストピアみやこを会場に約2か月間宮古港海戦に係る資料展示を行います。 また、7月1日より宮古港海戦にゆかりのある市町村で「海鮮」メニューを食べて、スタンプをためるデジタルスタンプラリーを開催いたします。
主催	宮古港海戦150周年記念事業実行委員会
内容	■宮古港海戦 150 周年記念講演会及び講談披露 講 師：東京大学史科編さん所准教授 箱石大^{ひろし} さん 講談師：アマチュア講談師 地伏亭金目^{ちふくてい きんめ} さん 日時：8月5日（月） ≪講談①≫午後2時から午後2時20分／地伏亭 金目 さん ≪講演会≫午後2時30分から午後3時20分／箱石 大 准教授 ≪講談②≫午後3時30分から午後4時／地伏亭 金目 さん 場所：イーストピアみやこ2階 多目的ホール ■宮古港海戦 150 周年記念資料展 期間：8月5日（月）から9月30日（月）まで 時間：午前9時から午後9時30分 場所：イーストピアみやこ1階 まちの情報プラザ ■宮古港『海鮮』スタンプラリー 期間：7月1日（月）から12月31日（火）まで 参加店：宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村の13店舗 内容：『海鮮』メニューを食べてスタンプをためると、宮古港海戦150周年記念オリジナルグッズをプレゼント
特記事項	◎宮古港海戦資料展開幕記念講演会については、観覧無料で当日先着順での受付となります。
問い合わせ	市産業振興部観光課もてなし観光係（☎68－9091）

③海水浴場開設について

趣旨・目的	浄土ヶ浜、藤の川、女遊戸及び小港の海水浴場を開設します。このうち、女遊戸及び小港は東日本大震災以降初めて、また、藤の川は3年ぶりの開設となります。 監視員の指示にしたがい、安全には十分注意して利用してください。
主催	宮古市
内容	■海水浴場開設内容 場所：浄土ヶ浜、藤の川、女遊戸、小港 期間：令和元年7月20日（土）から8月18日（日）まで（30日間） 時間：午前8時30分から午後5時まで
特記事項	●<u>浄土ヶ浜海水浴場警察官警戒所 開所式</u> 時間＝7月20日（土）午前8時30分～9時 場所＝浄土ヶ浜海水浴場 警察官警戒所前
問い合わせ	市産業振興部観光課もてなし観光係（☎68－9091）

④ジオパーク関連事業について

趣旨・目的	三陸ジオパークを広く普及させることを目的とし、宮古市内のジオサイトにおいて、関連イベントを開催します。
主催	宮古市三陸ジオパーク推進協議会
内容	■ジオパーク関連事業 1. 自然公園クリーン作戦 日時：7月6日(土)午前10時～午後0時40分 場所：浄土ヶ浜園地（※集合場所：浄土ヶ浜レストハウス前） 内容：浄土ヶ浜周辺の清掃 対象：どなたでも参加可能（要申し込み／宮古市観光課） 2. 「黒森さん」まで一緒に歩きますか？ 日時：7月21日(日)午前8時30分～午後0時30分 場所：黒森神社（※集合場所：山口公民館） 内容：黒森神社まで散策後、例大祭を見学 定員：20人（要申し込み／宮古観光文化交流協会） 3. 鮎ヶ崎灯台一般公開 日時：7月28日(日)午前10時～午後2時 場所：重茂 鮎ヶ崎 内容：鮎ヶ崎灯台内部の一般公開（申込み不要） 4. 浄土ヶ浜ナイトウォーク 日時：8月3日(土)午後7時30分～午後9時 場所：浄土ヶ浜（※集合場所：浄土ヶ浜ビジターセンター） 内容：夜の浄土ヶ浜を歩いて、星空などを観察 定員：30人（要申し込み／宮古市観光課）
特記事項	—
問い合わせ	市産業振興部観光課もてなし観光係、ジオパーク推進係（☎68-9091）

宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム

第 18 回特別企画展「大地を掘ると、海の恵みがみえてくる」

／「岩手の海とジオの魅力展」について

趣旨・目的	今年で 18 回目になる特別企画展。 今年は、「三陸防災復興プロジェクト 2019」の事業である「岩手の海とジオの魅力展」の一つとして開催。（県内 8 施設 7 会場で開催） 三陸ジオパークの魅力でもある壮大な「大地」と「海」に育まれた先人たちの営みについて、発掘出土品の展示を通して紹介し、あらためて「大地」「海」「人」、それぞれのつながりに触れていただく。
日時	令和元年 7 月 13 日（土）～9 月 29 日（日） 9：00～17：00
場所	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム 企画展示室
会場・主催	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム・宮古市教育委員会
内容	先人たちの記憶が刻まれた大地を掘ること（発掘調査）でみえてくる海の恵みについて、「縄文貝塚」「塩作り」「鉄作り」「昆布」「海を介した交易・交流」等の歴史的なテーマごとに紹介する。
特記事項	◎開館 3 周年記念日を含めた期間(7 月 13 日(土)～8 月 18 日(日))は入館無料デイズを実施。この期間は個人・団体問わずミュージアム入館無料。 ◎例年、夏休み期間中を含めた夏期に様々なテーマで特別企画展を実施。
問い合わせ	市教育委員会文化課(崎山貝塚縄文の森ミュージアム) (☎ 65-7526)

「海の日」関連イベントについて

趣旨・目的	7月の祝日「海の日」にちなんで各種イベントを行います。
日時・場所・内容	1. 第27回「海の日」宮古港カッターレース 日時：7月14日(日)午前8時30分～ 場所：宮古市魚市場前 参加予定チーム数：30チーム （一般の部＝20、女子の部＝4、市長杯の部＝6） 内容：全長9kmの手漕ぎカッターボートでタイムを競うレース競技 2. 令和元年「海の日」記念式典 日時：7月31日(水)午後2時～午後4時 場所：市民文化会館中ホール 参加：約200人（主催者・来賓・表彰者・関係者） 内容：海事功労者等表彰状授与・優良漁船等表彰状授与 3. 第28回宮古港ボート天国 日時：8月4日(日)午前9時～(体験試乗開始は午前10時～) 場所：リアスハーバー宮古および付近近海 内容：①体験航海（海上保安署巡視艇「はつかぜ」、プレジャーボート、クルーザーヨット、ゴムボート、水上バイクの乗船） ②体験試乗（宮古海上技術短期大学校教習艇、アクセスディンギー、スタンディングパドル、シーカヤックの試乗）
問い合わせ	1. 第27回「海の日」宮古港カッターレース実行委員会事務局 （市民総合体育館内 ☎62-6000） 2. 令和元年「海の日」記念式典 市水産課 水産振興係（☎68-9099） 3. 第28回宮古港ボート天国 ボート天国推進協議会事務局（リアスハーバー宮古内☎71-1120）

未来（あした）への道 1,000 km縦断リレー2019 について

趣旨・目的	復興へ向けた取り組みなどを発信し、東日本大震災の記憶の風化を防ぐとともに、全国から集まる参加者と被災地との絆を深める。また、東京2020五輪への機運の醸成を図る。
日時・場所	【1日目】 ○「ゴール式」 日時：7月26日（金）午後5時30分頃～午後6時30分頃 （ゴール予定時刻午後5時43分） 場所：宮古地区合同庁舎 【2日目】 ○「スタート式」 日時：7月27日（土）午前8時30分～午前9時00分 場所：宮古地区合同庁舎 ○「ふれあいランニング」 日時：7月27日（土）午前9時00分～9時15分 場所：宮古地区合同庁舎～旧宮古市役所分庁舎
主催	東京都、東京都スポーツ文化事業団
内容	○申込者によるたすきリレー ○申込者とゲストランナーによる、ふれあいランニング
特記事項	○今回の縦断リレーが、東京2020五輪に向けたラストランとなります。 ○ふれあいランニング・ゲストランナー ☆ 畑中 みゆき（はたなか みゆき）氏 元スキー・フリースタイル選手 ソルトレイクシティ・トリノオリンピック出場 ☆ 三浦 浩（みうら ひろし）氏 パワーリフティング選手 ロンドン・リオデジャネイロパラリンピック出場

問い合わせ	【報道関係】 東京都オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部 (☎03-5388-2197 内線：38-240) 【参加者関係】 未来（あした）への道 1000 km縦断リレー2019 参加者事務局 (☎03-3451-6107)
---------------------	--

三陸防災復興プロジェクト 2019 さんりく音楽祭 2019
佐渡裕&スーパーキッズ・オーケストラ 2019
東日本大震災復興祈念演奏活動
「“こころのビタミン” プロジェクト in 宮古」について

趣旨・目的	世界的指揮者・佐渡裕^{さど ゆたか}さんと、兵庫県立芸術文化センターを拠点に活動するスーパーキッズ・オーケストラによるコンサート。 東日本大震災被災地の復興支援を目的に毎年被災地で開催され、宮古市での開催は平成 28 年以降 4 回目となる。 今年は三陸防災復興プロジェクト 2019 の一環として開催。
日時	8 月 2 日(金) 午後 6 時～8 時（開場は午後 5 時 30 分）
場所	宮古市民文化会館 大ホール
主催	三陸防災復興プロジェクト 2019 実行委員会 宮古市／宮古市教育委員会 兵庫県立芸術文化センター 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター（市民文化会館指定管理者）
内容	■出演者 ◆指揮：佐渡裕（さど ゆたか）氏 ◆演奏：スーパーキッズ・オーケストラ ■第 1 部（18:00～19:00） 佐渡氏による市内生徒の吹奏楽クリニック（公開指導） ■第 2 部（19:15～20:00） 佐渡裕&スーパーキッズ・オーケストラ公演 市内生徒と、吹奏楽・合唱の共演
特記事項	◎入場無料（整理券が必要・全席自由） ※7 月 6 日（土）10 時より、<u>市民文化会館・崎山貝塚縄文の森ミュージアム・イーストピアみやこ・各総合事務所で整理券を配布</u> ◎広報 7 月 1 日号に開催チラシを折り込み、住民に周知する。
問い合わせ	市教育委員会 文化課 文化係（☎ 65－7526）

海上自衛隊掃海管制艇「ながしま」入港について

趣旨・目的	海上自衛隊掃海管制艇「ながしま」が出崎ふ頭に停泊し、市民に一般公開される。
日時	(入港) 8月2日(金)午前9時30分 (出港) 8月4日(日)午後4時
場所	宮古港出崎ふ頭 宮古市魚市場前
主催	宮古市
内容	■歓迎式典 ※入港当日 日時：8月2日(金)午前11時 (※大漁旗・花束贈呈) ■一般公開(無料。申し込み不要) 日時：8月2日(金)歓迎式典終了後から1時間程度 日時：8月3日(土)午後1時～午後4時(受付は午後3時30分まで) 日時：8月4日(日)午前9時～午後3時30分(受付は午後3時まで) ■一般公開と同時開催 陸上自衛隊・航空自衛隊の装備品展示、自衛隊広報活動
特記事項	◎「ながしま」の概要 全長58m、全幅9.4m、基準排水量490t、乗員約35人 ◎艦艇の入港実績 平成25年 7月 護衛艦「まきなみ」、「すずなみ」(来場者6,341人) 平成26年 8月 潜水艦「うずしお」(来場者4,246人) 平成27年 7月 掃海艇「えのしま」、「ちちじま」(来場者1,612人) 同 9月 多用途支援艦「えんしゅう」(来場者741人) 同11月 試験艦「あすか」(来場者2,118人) 平成28年 9月 水中処分母船「YDT2号」(来場者430人) 平成29年 9月 多用途支援艦「すおう」(来場者1,020人) 平成30年 7月 護衛艦「うみぎり」、「とね」(来場者3,329人)
問い合わせ	市危機管理監 危機管理課 防災係(☎68-9111) 自衛隊岩手地方協力本部 宮古地域事務所(☎63-3881)

閉伊川川下り大会 2019 について

趣旨・目的	全国に誇れる地域資源である閉伊川を活用したイベントを開催し、宮古市を県内外にアピールするとともに、参加者と地域住民の交流を促し、地域の活性化を図ることを目的とし、平成元年から実施。
日時	令和元年 9 月 1 日(日) ・ 午前 7 時 30 分選手受付 ・ 午前 8 時 30 分開会式 ・ 午前 10 時スタート ・ 午後 2 時閉会式
場所	閉伊川 腹帯・茂市間コース（開会式は、湯ったり館下方の河川敷）
主催	閉伊川遊イング事業実行委員会
内容	■競技は、一般の部・団体の部 の 2 部門 ■一般の部は、2 人 1 組でゴムボートに乗り、腹帯橋付近からスタート。湯ったり館下のゴール地点^{くだ}まで下り、タイムを競う。 ■団体の部は、1 チーム 6 人で、2 人ずつ 3 組でのリレー。スタートとゴールは一般の部と同じ地点であるが、1 隻のゴムボートを途中にある 2 カ所の中継点で、次の組が乗り継ぎ、タイムを競う。
特記事項	◎申込期間は、7 月 1 日(月)から 8 月 16 日(金)まで。 ◎競技は、早いチームでは 40 分前後でゴール。遅いチームでも 90 分前後でゴール。 ◎昨年度は、一般の部 48 チーム 96 名、団体の部 13 チーム 78 名が申込み。
問い合わせ	新里総合事務所地域振興係（☎ 72-2111）